

※本リリースはS C S K株式会社ならびに日本アイ・ビー・エム株式会社による共同ニュースリリースです。各社より重複して配信される場合がございますが、あらかじめご了承ください。

2021 年 10 月 25 日

報道関係各位

S C S K株式会社
日本アイ・ビー・エム株式会社

**S C S K、IBM メインフレームに関する包括的なサービスを
ワンストップで提供
IT インフラの提供から設計、構築、モダナイゼーション、運用管理まで**

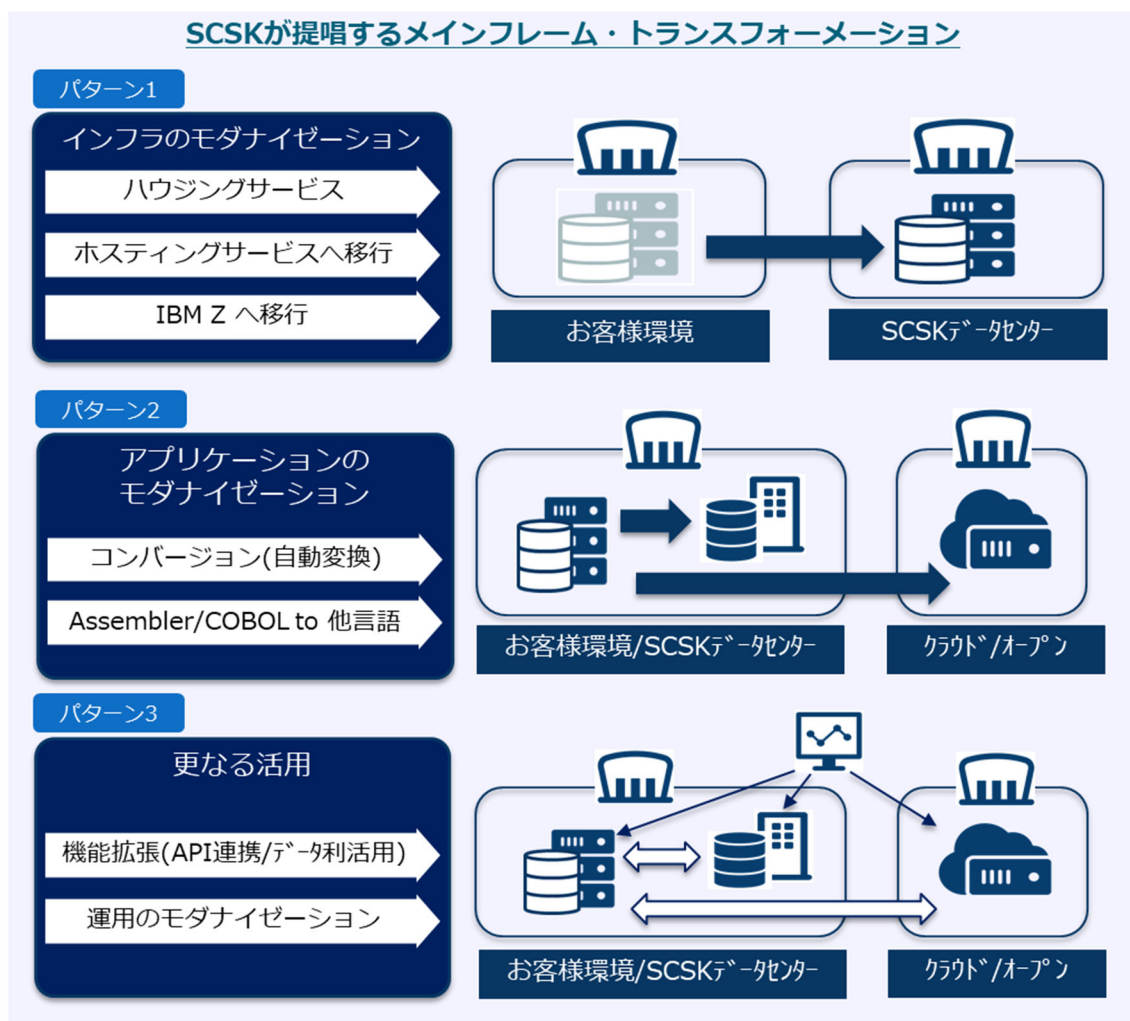
S C S K株式会社（本社：東京都江東区、代表取締役 執行役員 社長 最高執行責任者：谷原 徹、以下 S C S K）と日本アイ・ビー・エム株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役社長 山口 明夫、以下 日本 IBM）は、S C S KがビジネスパートナーとしてIBMのメインフレーム「IBM Z」の再販契約を締結し、両社の協業を拡充していくことを発表しました。これをもとにS C S Kは、メインフレームを利用しているお客様の IT インフラストラクチャーの将来構想策定から提供、設計、構築、モダナイゼーション、運用管理まで、ワンストップでシームレスに支援し、メインフレーム・トランスフォーメーションを実現するサービス「MF+（エムエフプラス）」の提供を2021年10月25日から開始します。

多くの企業でデジタル変革が加速し、企業の IT 環境には、データやAIを活用した新たなデジタル技術の活用や社内外の幅広い関係先との連携など、オープンでハイブリッドな環境へトランスフォーメーションしていくことが求められています。そのため企業では、メインフレームをはじめ自社で所有・管理しているシステムに加え、クラウドやエッジ、IoT 機器など、多様なシステムが緊密に連携する新しい IT 基盤の構想策定やそうしたシステムの実装が課題となっています。

S C S Kは、「MF+」によりお客様のメインフレーム・トランスフォーメーションを共に推進する役割を担っていきます。メインフレーム基盤の最適化、ハイブリッドクラウド環境へのシームレスな統合を進め、お客様の DX を戦略的に実現していくために優れた信頼性とセキュリティを提供する「IBM Z」の潜在能力を引き出します。お客様のビジネスを支えるメインフレーム上のアプリケーションとデータの価値を最大限に活かし、より高い投資対効果の実現、お客様ビジネスのさらなる加速を推進していきます。

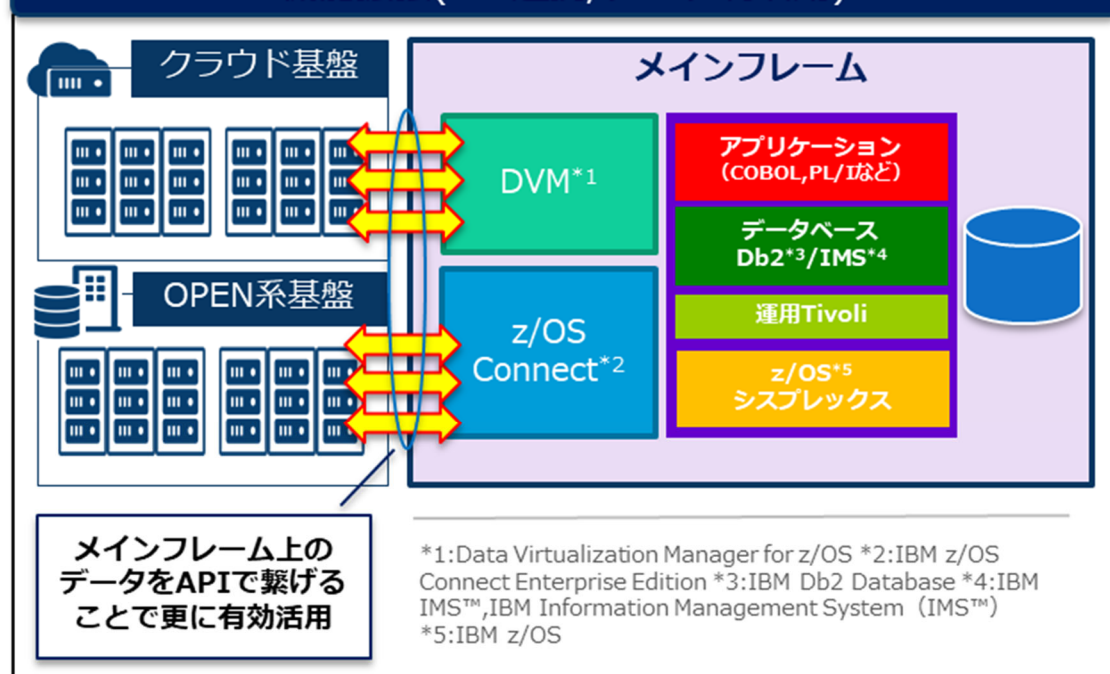
日本 IBM は、AI などの最新技術の活用やグローバルで培ってきたメインフレーム・アプリケーションのモダナイゼーション、大規模システムの移行や運用に関するノウハウなどを通じ、S C S Kを支援していきます。また、両社は協業を通じ、お客様の DX を

推進していきます。



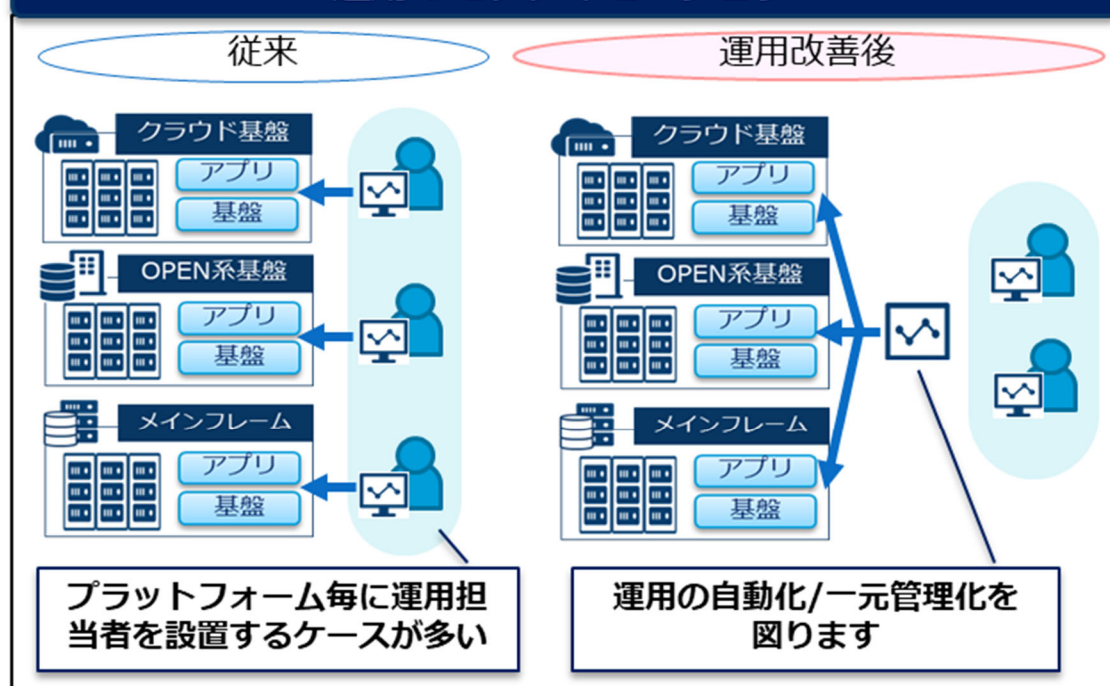
パターン3-A

機能拡張(API連携/データ利活用)



パターン3-B

運用のモダナイゼーション



<本件に関するお問い合わせ先>

<製品・サービスに関するお問い合わせ先>

SCSK株式会社

ソリューション事業グループ

マネジメントサービス第二事業本部 金融マネジメントサービス第六部

E-mail : mainframe-sales@ml.scsk.jp

<報道関係お問い合わせ先>

日本アイ・ビー・エム株式会社 広報 須山

TEL : 03-3808-5120 e-mail : suya@jp.ibm.com

SCSK 株式会社 企画本部 広報部 高野

TEL : 03-5166-1740

※掲載されている製品名、会社名、サービス名はすべて各社の商標または登録商標です。